

# 景況

レポート  
2026年1~3月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは  
前期比2.1ポイント悪化

2026年1月から3月は、高市首相率いる自民党が衆院選で316議席の歴史的な大勝を収め、政権基盤を強固にしました。通常国会では2026年度予算審議が本格化し、消費税減税をめぐる与野党の論戦も注目されました。賃上げ効果で景気は緩やかに回復する一方、中東情勢緊迫化によるエネルギー価格上昇懸念が企業心理に影響を与えました。

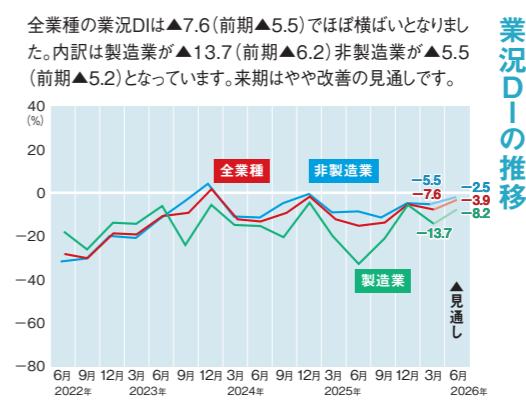
今期の全業種業況DIは▲7.6で、前期比2.1ポイントの悪化となり、全体としては「ほぼ横ばい」となりました。業種別では、製造業、サービス業は依然としてマイナス圏内で今期は「悪化」となりました。卸売業については「やや改善」となったものの、マイナス圏内から抜け出すことができていません。小売業、不動産業については「ほぼ横ばい」となり、建設業のみプラス圏内で推移しています。なお、本調査結果には、その後の米国・イスラエルとイランの軍事衝突による中東情勢悪化にともなう原油価格の急騰などは反映されておらず、今後の影響が懸念されます。

調査要領	合計			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1195社	434社	36.3%	178社	57社	32.0%	106社	32社	30.2%	189社	62社	32.8%
	267社	110社	41.2%	214社	85社	39.7%	241社	88社	36.5%			

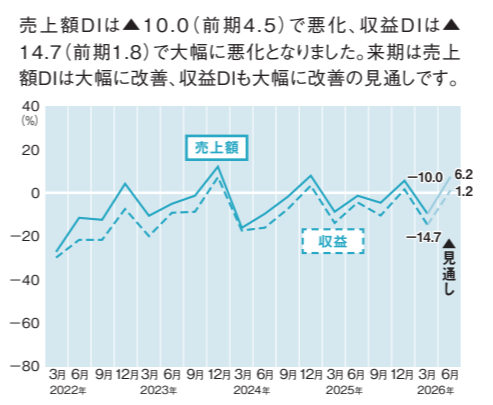
調査時点 / 2026年2月4日~3月4日  
調査依頼先 / 当庫取引先  
調査方法 / 郵送調査  
調査対象期間 / [今期] 2026年1月~3月  
[前期] 2025年10月~12月  
[来期] 2026年4月~6月  
分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

## 全業種総合DI

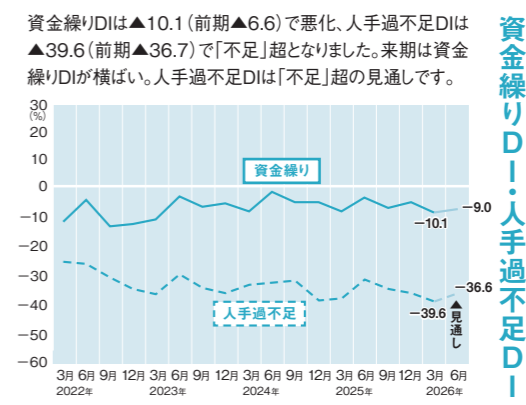
業況はほぼ横ばい、  
来期はやや改善の見通し



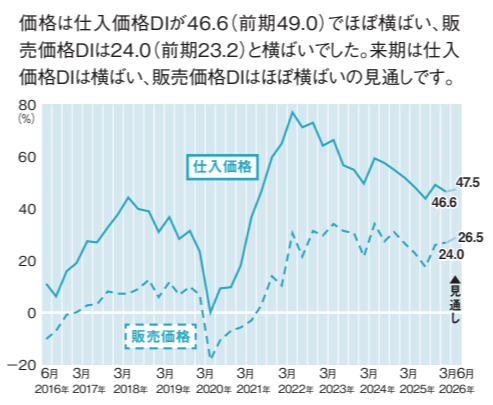
業況DIの推移



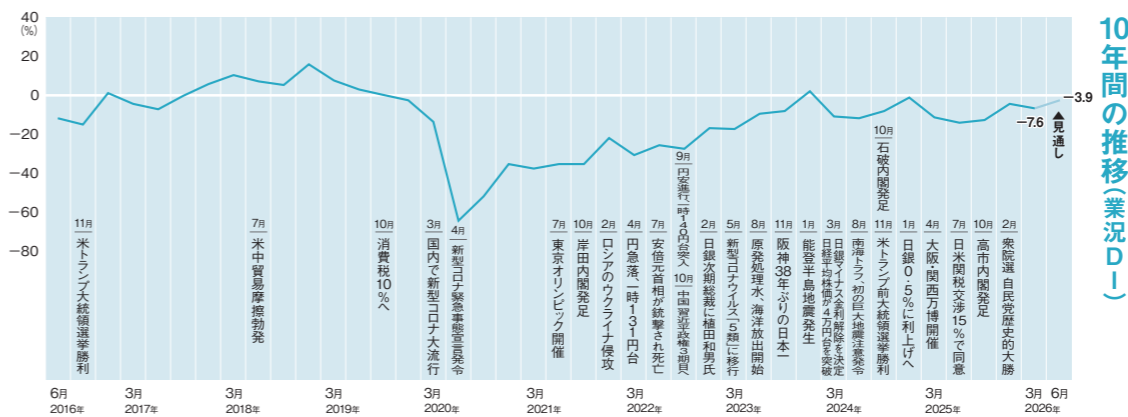
売上額DI・収益DI(前期比)



資金繰りDI・人手過不足DI



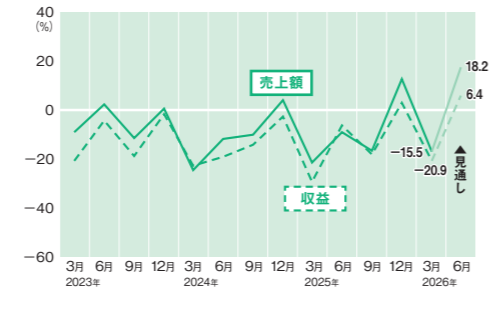
10年間の推移(価格DI)



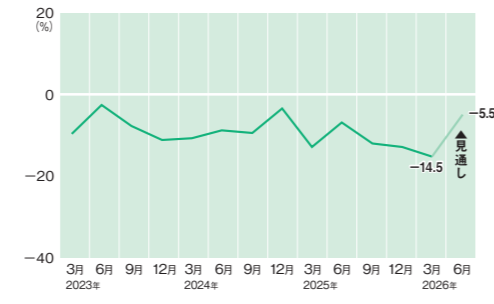
## 製造業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し

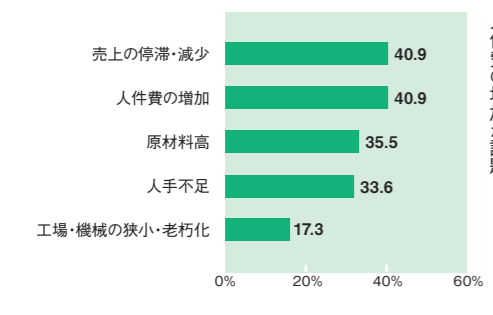
前期  
今期  
見通し



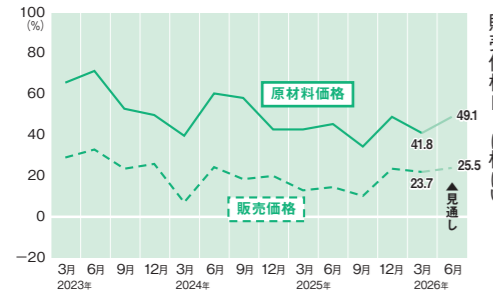
売上額DI・収益DI(前期比)



資金繰りDI



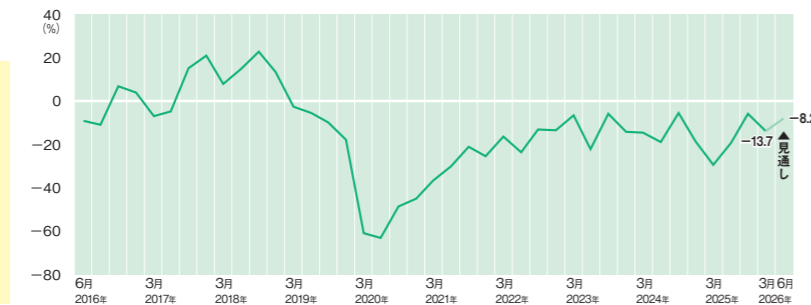
売上上の停滞・減少と  
人件費の増加が課題



原材料価格DIは横ばい、  
販売価格DIは横ばい

お客様の声

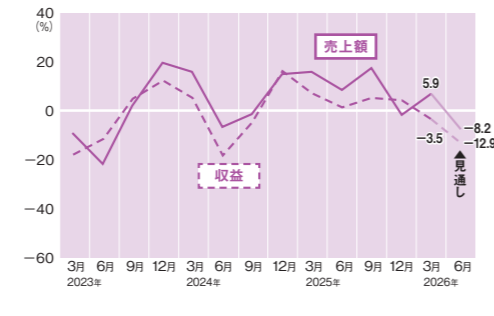
- 紙管を製造しているが、原料である紙管原紙の値上げが予定されている。スムーズに価格転嫁ができるようにしたい(摂津市 製造業)
- 低濃度PCB廃棄物の処理期限が迫っている。一旦、自己資金で支払い、後で2分の1の還付。この負担がこたえる(三木市 鉄工業)



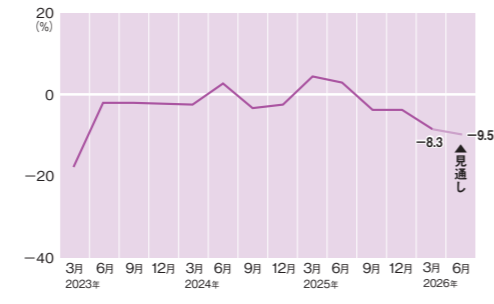
## 建設業

業況はやや改善、  
来期は悪化の見通し

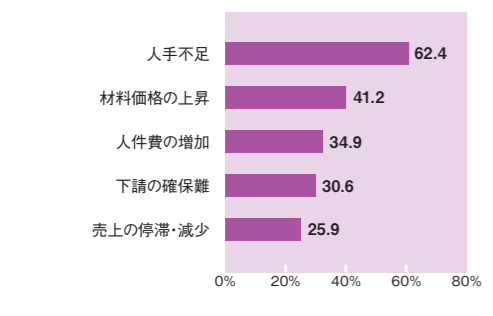
前期  
今期  
見通し



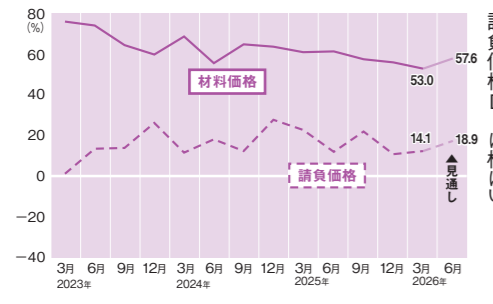
売上額DI・収益DI(前期比)



資金繰りDI



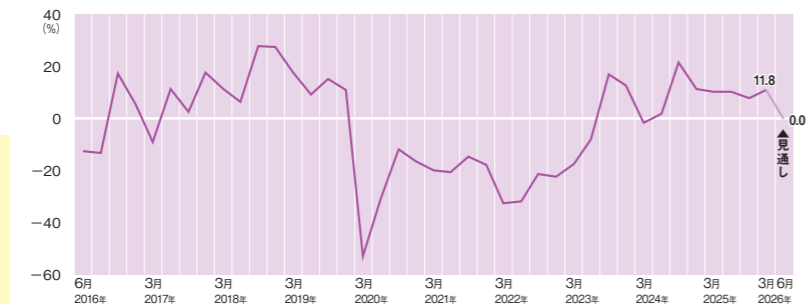
人手不足が一番の課題



材料価格DIはほぼ横ばい、  
請負価格DIは横ばい

お客様の声

- 万博工事のおかげで、資金的にゆとりができた。その後も山あり谷ありであるが、工事受注は順調である。今後もムダを省いた受注活動を継続していきたい(尼崎市 建設業)



前期  
今期  
見通し



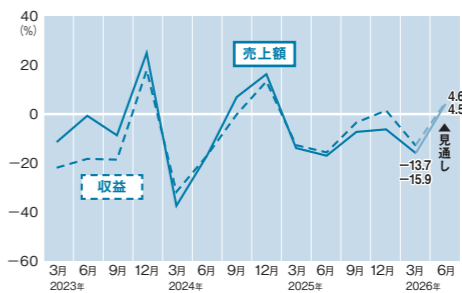
# 卸売業

業況はやや改善、  
来期もやや改善の見通し



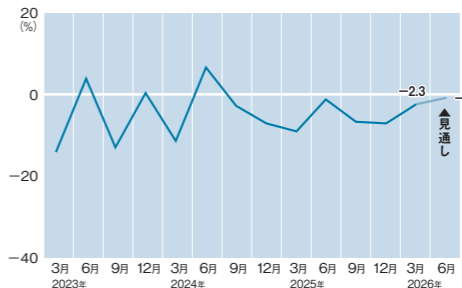
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は悪化、  
収益D1は大幅に悪化



## 資金繰りD1

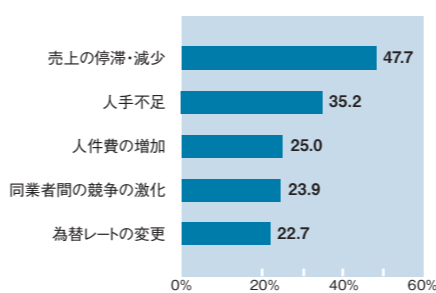
資金繰りD1はやや改善



## 10年間の推移(業況D1)

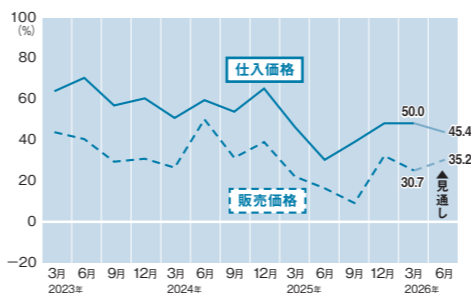
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少が  
一番の課題



## 価格D1

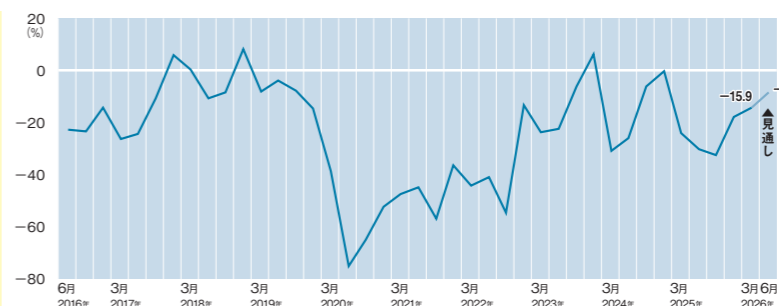
仕入れ価格D1は横ばい、  
販売価格D1はやや低下



## お客様の声



- 物流コストの上昇、円安の影響により商品価格が上昇し厳しい状況と感じている(卸売業 堺市)
- 急激な物価高、人件費の高騰で商品の値上げが追いつかない。B to Bから、単一商品のPR、販売ができる場としてクラウドファンディングを使い利益率の向上に努めている(卸売業 茨木市)



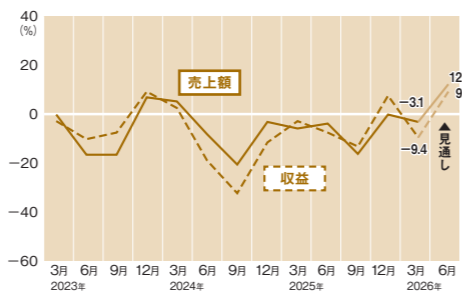
# 不動産業

業況は横ばい、  
来期は大幅に改善の見通し



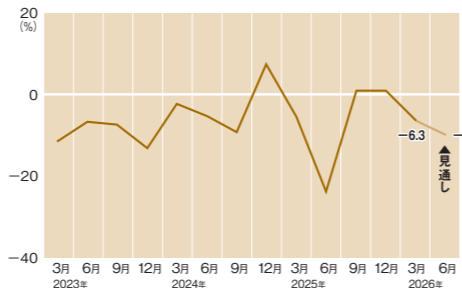
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は悪化、  
収益D1は大幅に悪化



## 資金繰りD1

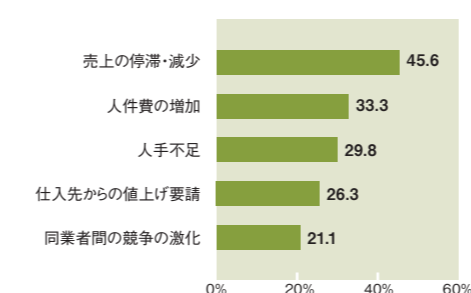
資金繰りD1は悪化



## 10年間の推移(業況D1)

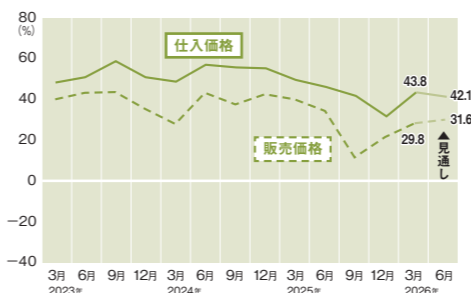
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少が  
一番の課題



## 価格D1

仕入れ価格D1はやや上昇、  
販売価格D1もやや上昇



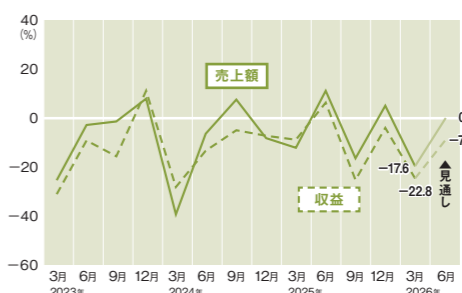
# 小売業

業況はほぼ横ばい、  
来期はやや改善の見通し



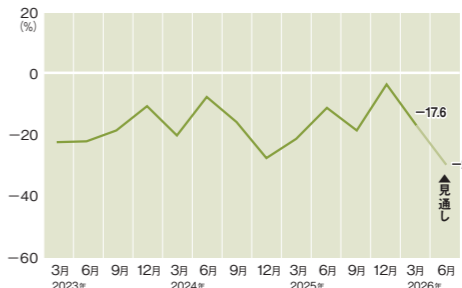
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は大幅に悪化、  
収益D1も大幅に悪化



## 資金繰りD1

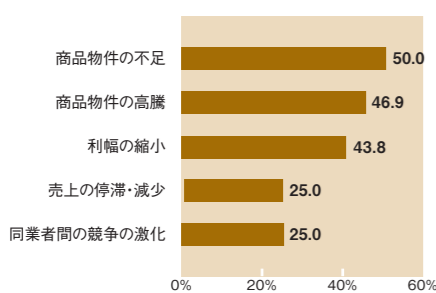
資金繰りD1は悪化



## 10年間の推移(業況D1)

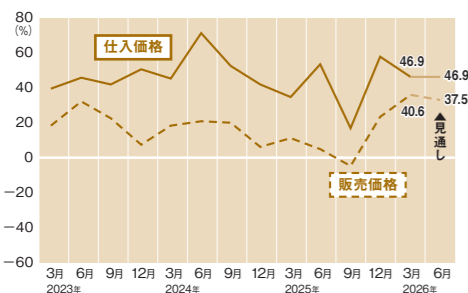
## 経営上の問題点

商品物件の不足に加え、  
商品物件の高騰が課題



## 価格D1

仕入価格D1は低下、  
販売価格D1は上昇



## 10年間の推移(業況D1)

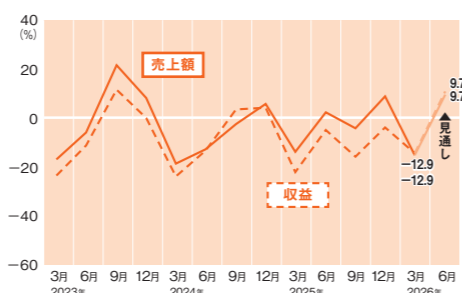
# サービス業

業況は悪化、  
来期は改善の見通し



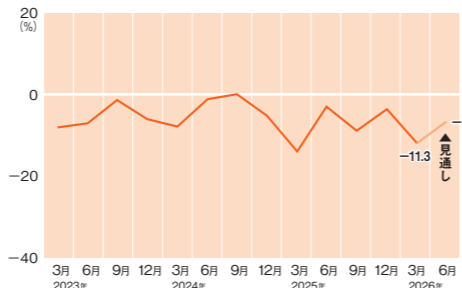
## 売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は大幅に悪化、  
収益D1は悪化



## 資金繰りD1

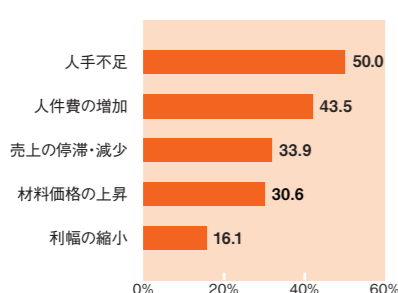
資金繰りD1は悪化



## 10年間の推移(業況D1)

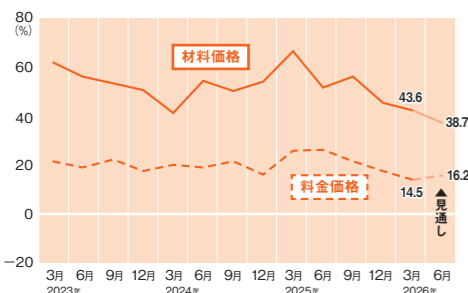
## 経営上の問題点

人手不足及び  
人件費の増加が課題



## 価格D1

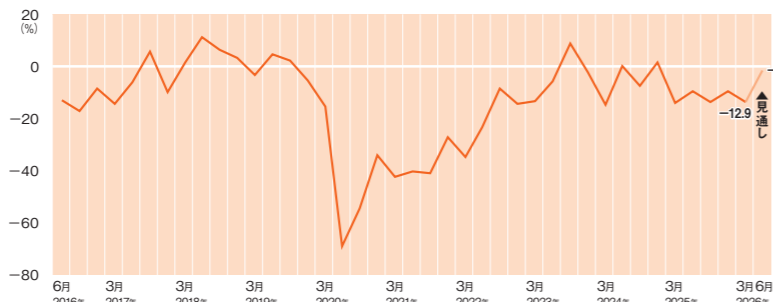
材料価格D1はほぼ横ばい、  
料金価格D1はやや低下



## お客様の声



- 同業他社の価格破壊により売上が低迷しているので賃金の引き上げができない。そうすると、補助金制度の加算項目で不利になり設備投資も難しくなる(大阪市 サービス業)
- 取引先がある程度、人件費高騰により値上げを理解してくれるようになった(大阪市 サービス業)



特別調査  
2

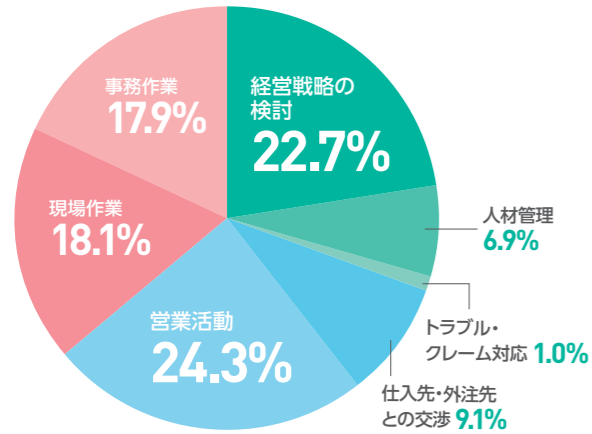
## 経営者の時間の使い方はどう変わったか

本調査では、経営環境の変化が続くなかで、経営者ご自身の「時間の使い方」に焦点を当てています。現場対応や顧客対応、事務作業、管理業務、将来に向けた検討など、経営者が担う業務は多岐にわたりますが、その配分は企業規模や業種、組織体制によって大きく異なります。本アンケートでは、日常業務のなかで現在どの業務に多くの時間を割いているのか、また数年前と比べてどのような変化が生じているのかについてお伺いいたしました。

調査時期 / 2026年2月4日～3月4日 調査対象企業数 / 1195社 有効回答数 / 419社 有効回答率 / 35.1% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

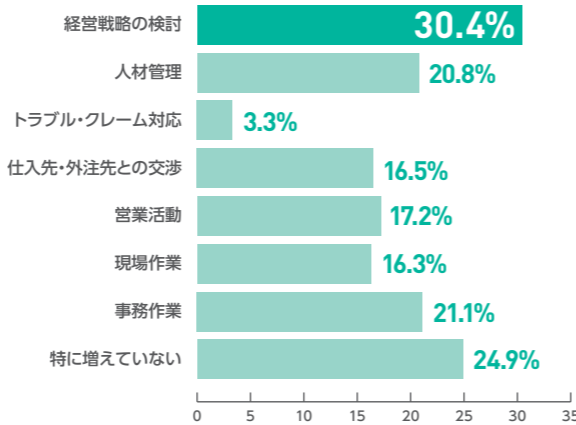
Q1

現在、経営者ご自身が最も多くの時間を使っている業務はどれですか。 ※1つ選択



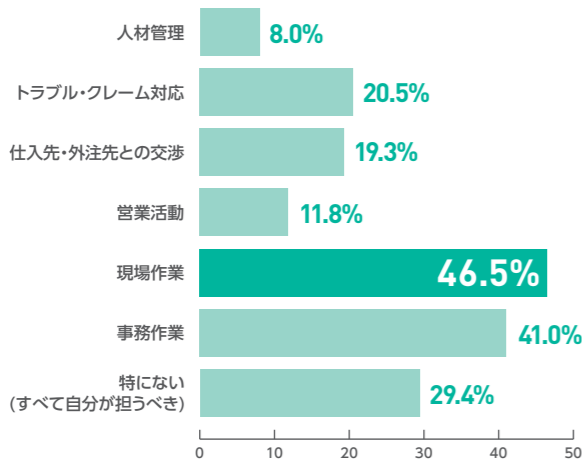
Q2

数年前と比べて、特に増えたと感じる業務はどれですか。 ※最大2つ選択



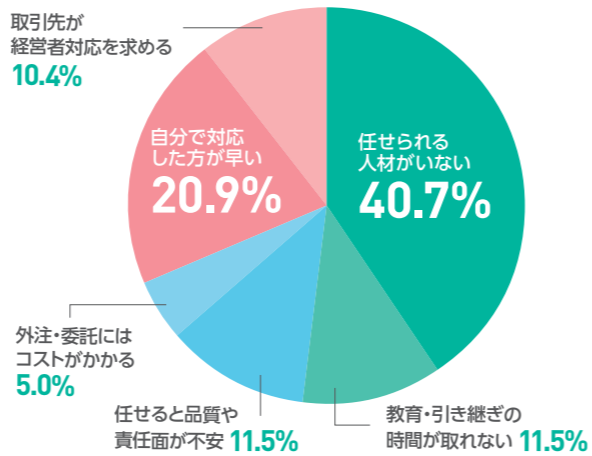
Q3

本来は、経営者が担わなくてもよいと感じている業務はどれですか。 ※最大3つ選択



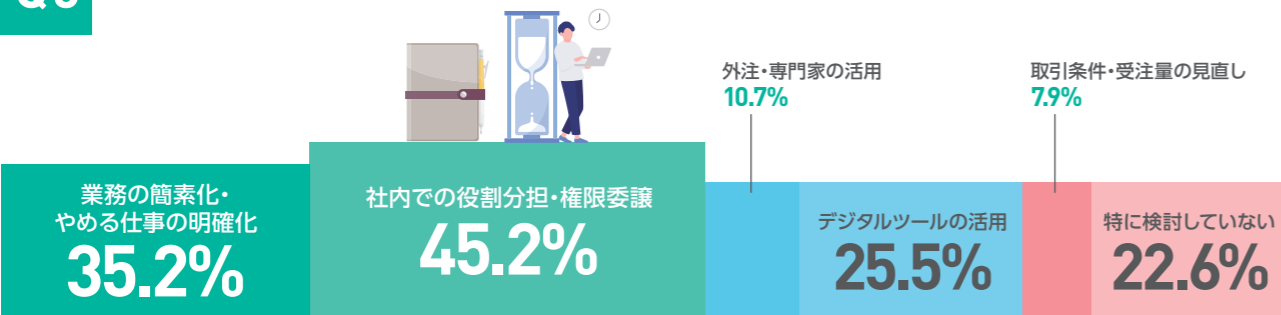
Q4

業務を任せられない・手放せない主な理由は何ですか。 ※1つ選択



Q5

今後、経営者の時間を確保するために最も重視したい取り組みはどれですか。 ※最大2つ選択



特別調査  
1

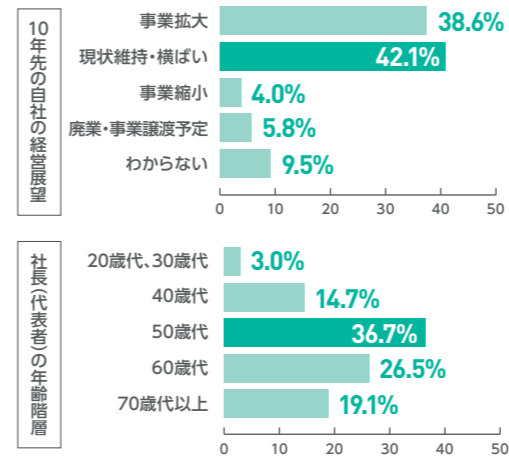
## 中小企業経営者のライフデザイン

中小企業の持続的な発展と経営者個人の人生設計は互いに密接に関わる重要なテーマです。特に近年は経営環境の変化が激しく、円滑な事業承継やセカンドライフに向けた早期の備えがより一層求められています。今回、将来のビジョンやリタイア後の展望、資産承継など、多くの方が直面する現状や課題について、ライフデザインというテーマで中小企業経営者の皆さまにアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2026年2月9日～3月4日 調査対象企業数 / 1195社 有効回答数 / 430社 有効回答率 / 36% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

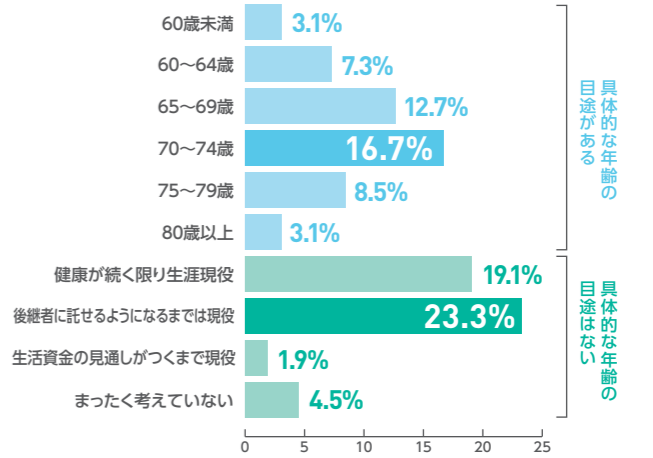
Q1

社長(代表者)の10年先の経営展望と、年齢階層について。 ※各1つ選択



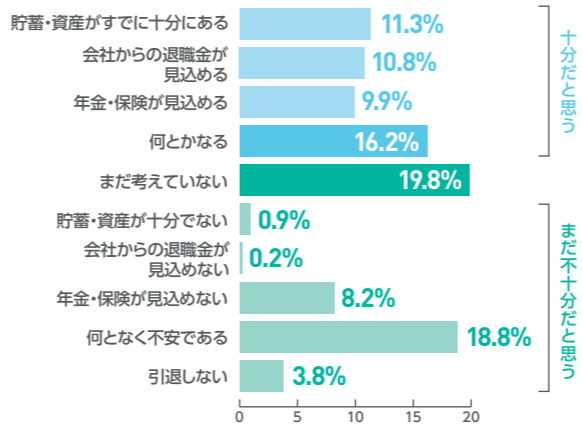
Q2

社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。 ※1つ選択



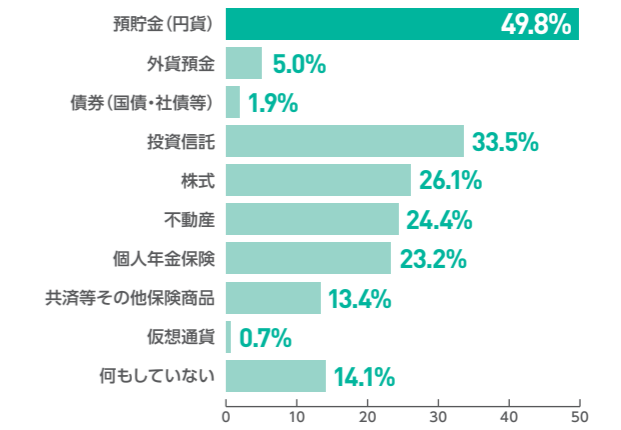
Q3

社長(代表者)は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。 ※1つ選択



Q4

社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。 ※3つ以内で選択



Q5

貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金(定期昇給分、賞与や一時金除く)の上げを実施(実施予定を含む)しますか。 ※1つ選択

